

消化器内科

《概要》

2007年度から大学派遣医師の一斉引き揚げのために、消化器内科としての機能は一旦停止し、常勤医1名と応援医師により、外来および内視鏡検査のみがかろうじて維持されてきました。「地域の中核病院で消化器内科が機能していないという危機的状況をなんとか打開したい」という病院指導部の切なる願いを受け、2010年1月18日に、部長・長島雅子、医長・河野敦子の常勤2名というささやかな陣容で「消化器内科」として再発足し、再建の歩みを開始したばかりです。

機能停止期間に失った消化器内視鏡学会施設認定を2010年2月に再申請し、2010年秋には再び認定施設となれる見込みです。また、臨床面では、マンパワー不足による限界はあるものの、応援医師の力を借りながら、消化管疾患を中心に積極的な緊急検査や入院受け入れを再開しつつあります。

再建の動きは、少しずつ、患者さんや周辺医療施設の先生方へも認知され始め、検査数・入院数は右肩上がりに増加してきていますが、これ以上の需要に応えるためには、若手常勤医の確保が喫緊の課題です。また、常勤医の専門領域が消化管であるため、肝疾患については、外来診療のみ近畿大学医局からの応援に力を借り、インターフェロンの投与などの積極的入院加療は未だできないのが現状です。

少しでも早く、消化器内科としてのまっとうな機能を取り戻すため、医療の質の向上と、人材確保・育成へ向けて、さらなる努力を続けてゆく所存です。

《実績》 2009.4.1～2010.3.31

上部消化管内視鏡検査件数	1,839件
下部消化管内視鏡検査件数	924件
ERCP件数	51件
内視鏡治療件数	238件
緊急内視鏡検査件数	111件

《業績》

(1) 院内研究活動 (2009.4～2010.3)

番 号	演 題	発 表 者	年 月 日
1	市民健康講座講演「内視鏡よもやま話」	長島雅子	2009.11.21
2	第23回院内臨床集談会「緊急内視鏡検査 Don't & Do」	長島雅子	2010.3.25